

# 2011 ハワイ・ロングステイ（5）

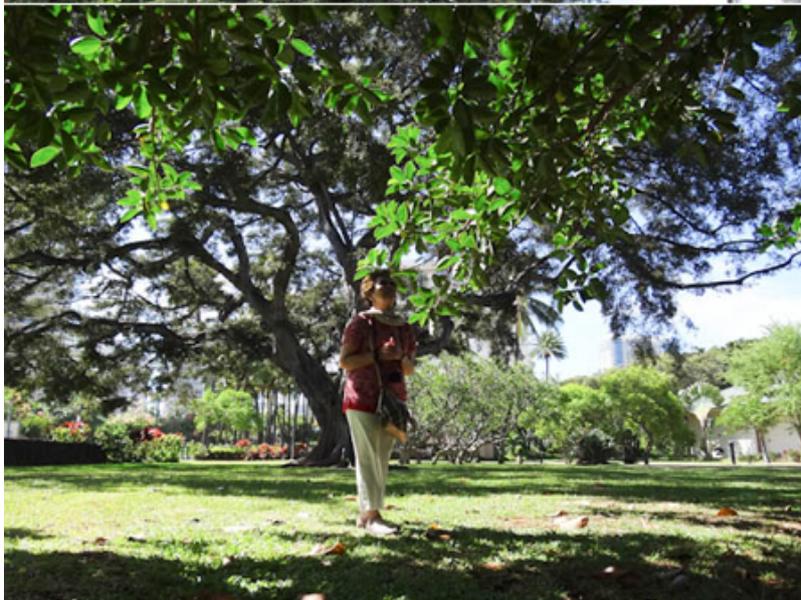
第5話「ワイキキ・スターライト・ルアウは素晴らしい~ !!」

Aloha!!

ハワイ・ステイは4日目 まだまだ慣れない土地での暮らし...知らず知らずに日々の気疲れが蓄積しているのであろうか?...朝が眠たい。それでもヨイショと6時ころには起きだして、昨夜のうちにすべきだったバッテリー類の充電をセットする。



そして今朝は、コンドで初めて「ご飯」を炊く...熱あつのご飯は、常夏の国といえどもやっぱり



り美味しい!!。

今朝も素晴らしい「晴」...コンドのベランダに出ると、アラワイ運河をはさんだ向こう岸には、山側の街並みが朝陽を受けて輝いている。

ゆったりと流れる朝の時間の中、純和風の朝食で束の間、日本を取り戻す。

今日は、ヒルトン・ハワイアン・ビレッジの「タイムシェア」の見学を約束している。シャワーを浴び、ゆっくり仕度をして部屋を出る。そしてエレベータ前に行くとそこに、ベビーカーに赤ちゃんを乗せた若い日本人女性がいた。私たちを見るなり「おはようございます!!」と、爽やかな笑顔が飛び込んできた。... 見ず知らずの女性からの突然の挨拶に、一瞬ためらいながら、やっと同じ挨拶言葉を返し



た私たち。

次の瞬間、その女性は「私はこの階に住んでいる者で、と申します。夫は米国人で、子供の名前はで、生後5ヶ月になります...よろしくお願いしますね!」と、丁寧なご挨拶を受けたのである。

こうした思いがけない出会いがあって、コンドの外に出た。

「もし私たちだったら、見ず知らずの方に、あんなにきちんとした挨拶が出来ただろうか?...」「いやいや...せいぜいアロハーの一言が精一杯よね!」「あの娘は日本人だけど、ここは米国...」「やっぱり、マナーが違うよね!!」などと...しきりに感心したり、反省したり、ため息ついたりの中、今日のウォーキングが始まった。



ヒルトンまでの散歩コースを、今日は、カラカウア通りからフォートデルッシ公園に入り、公園のおよそ真ん中を縦断して行くことにした。初めて通る道は楽しい。



そうして、ヒルトン・ハワイアン・ビレッジへと入っていった。

□  
□**今でもハワイでの話題は、コンドミニウムの「タイムシェア」がある。**11時から、その見学ツアーに参加する約束である。なので、指定されたタワーの34階に出向いた。

□私達をガイドしてくれるその方は、結婚をしてハワイに永住している若い日本人女性である。

背が高くて、すらりとしたポディーにムームーがよくお似合いのこの女性... **ヒルトン・グランド・バケーション・クラブのバケーション・カウンセラー**をしている。

下の写真は「タイムシェア」の部屋から撮ったもの。凄い眺めだ!...



この「タイムシェア」... 私たちには、とても手が届かない夢の中の物件だと思っていて、頭から諦めているではあったが「見るだけでもいいのよ!」と勧められて、それに何と言っ



ても「ワイキキ・スターライト・ルアウ」の招待状が欲しくて、ここまで足を運んで来たのであった。



□  **Hilton・ハワイアン・ビレッジ**の中で、もっとも**新しいタイムシェア専用**のリゾート「**グランド・ワイキキアン**」がタイムシェアーされるというのである。



「タイムシェア」とは、ひとことで言うと、別荘を週単位で所有するというパッケージ・スタイルのこと。「**ハワイに別荘を持ちたい!**」という夢を実現してくれる「タイムシェア」のシステムは、世界中で1兆円以上もの売り上げを誇る一大産業に成長しているようだ。

ハワイ旅行のリピーターにも「ハワイにはたまにしか来ない」という人にも人気の「タイムシェア」とは何なのか  
?....。



暮らす感覚のステイを約束してくれるだけでなく、また、ハワイだけでなく世界中のいろいろな場所のリゾートにも利用できるという画期的なシステムと聞いた。

「タイムシェア」のアイデアは、フランスやスイスが起源だとも聞いている。1960年代にフランスのアルプス山脈でスキー・リゾートを運営するポール・ドゥミエール氏が「ホテルを買うほうが、部屋を借りるより安いです!」というキャッチ・フレーズで売り出したのが「タイムシェア」のそもそもの始まりともいわれている。



見学した部屋は「2ベッドルームと1ベッドルームのコンドミニウム」。それは素晴らしいが、私たちには、夢のような別荘に見えた。実際に購入された日本の方の感想などを读ませて貰ったが、驚くほどの多くの日本人が購入している事実を目の当たりにして、正直言って尻込みした。「オーナーになる」ということは、購入した物件が不動産として正式に登録されるため、資産として相続することもできるし、もちろん売却することもできるわけだ。□**そうなる、余生少ない私たちよりも、むしろ子供や孫たちが楽しむ期間の方が、うんと長くなるではないか。こうなると「...うむ!! ?? ...」夢のまた夢で、私たちには無縁の物と堅く諦めていた筈なのに、無意識にビクッと...触手が動くのを感じたものだ。**

見学を終えて「グランド・ワイキキアン」を後にし、昼食をとってコンドに戻っ



た。

□pm5:30

から始まる...ヒルトン・ハワイアン・ビレッジでの「**ワイキキ・スターライト・ルアウ**」を見物に出掛ける。会場へ通じる広いホールでは、素晴らしい「フラとハワイアン音楽」で迎えてくれた。そして会場に入る際には、ダンサーが貝のレイを、ゲストひとりひとりにかけて歓迎してくれた。



このルアウ・ショーが行われているのは、ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ内の「ミッド・パシフィック・コンファレンスセンター」屋上のルーフトップ・ガーデンである□



ディナータイムは、ハワイアン・ミュージックのライブ演奏を聴きながら始まっ

た。

フード・ステーションから、好きな料理を貰って来て食べるピュッフスタイルで、ハワイの伝統料理である。そのずらりと並ぶメニューは、ヒルトンが誇るシェフチームが、ハワイ産の新鮮な地産野菜を始め、豊富な素材を使って作り上げた自信作ばかりだそう。もちろん、デザートも盛り沢山。料理はどれも美味しかったが、私がこれまでに食べた事のない味のものがあった。それは「蜂蜜がかかったようなステーキ」である。驚きと珍しさの美味さで...何度もフード・ステーションへの往復をしてしまいました。何時もは「魚系」であるはずの私を...冷ややかな目で見える家内が横にいた...





料理を楽しんだ後は、いよいよ本格的なショーの始まりである。ステージが客席の中央に設置されているというのは、どこからも楽しめていいですね。 ショーのMCを務めるのはシンガーとして知られているカレ・チャン。彼の軽妙なトークで、ショーが進んでゆく。



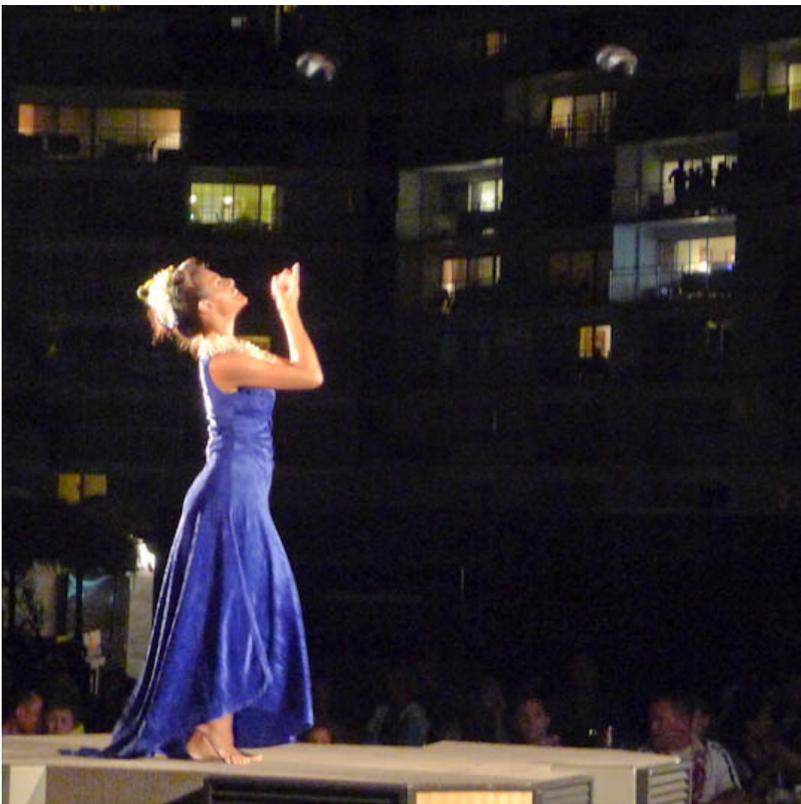
歌あり踊り

ありと演出も素晴らしい!!。  
ショーでは、タヒチアン・ダンスにニュージーラン



のマオリ族の勇壮な踊り、そして私が大好きな魅惑的でスローなフラ、キュートなフラ、そして最後に、4人の男性による迫力あるファイヤー・ナイフダンスは圧巻でした。

身も心も満足する料理の数々と幻想的なショーは、



あっという間に終わった感じで

した。

どの踊りも完成度が高く、これはもう、見逃せませんよ!!

...みなさ~ん!!。



ではまた...

お逢いしましょう!!

**Mahalo**!!